

劇団はぐるま座公演

安政の開国に抗して世直しと独立をなしとげた誇り高き人々

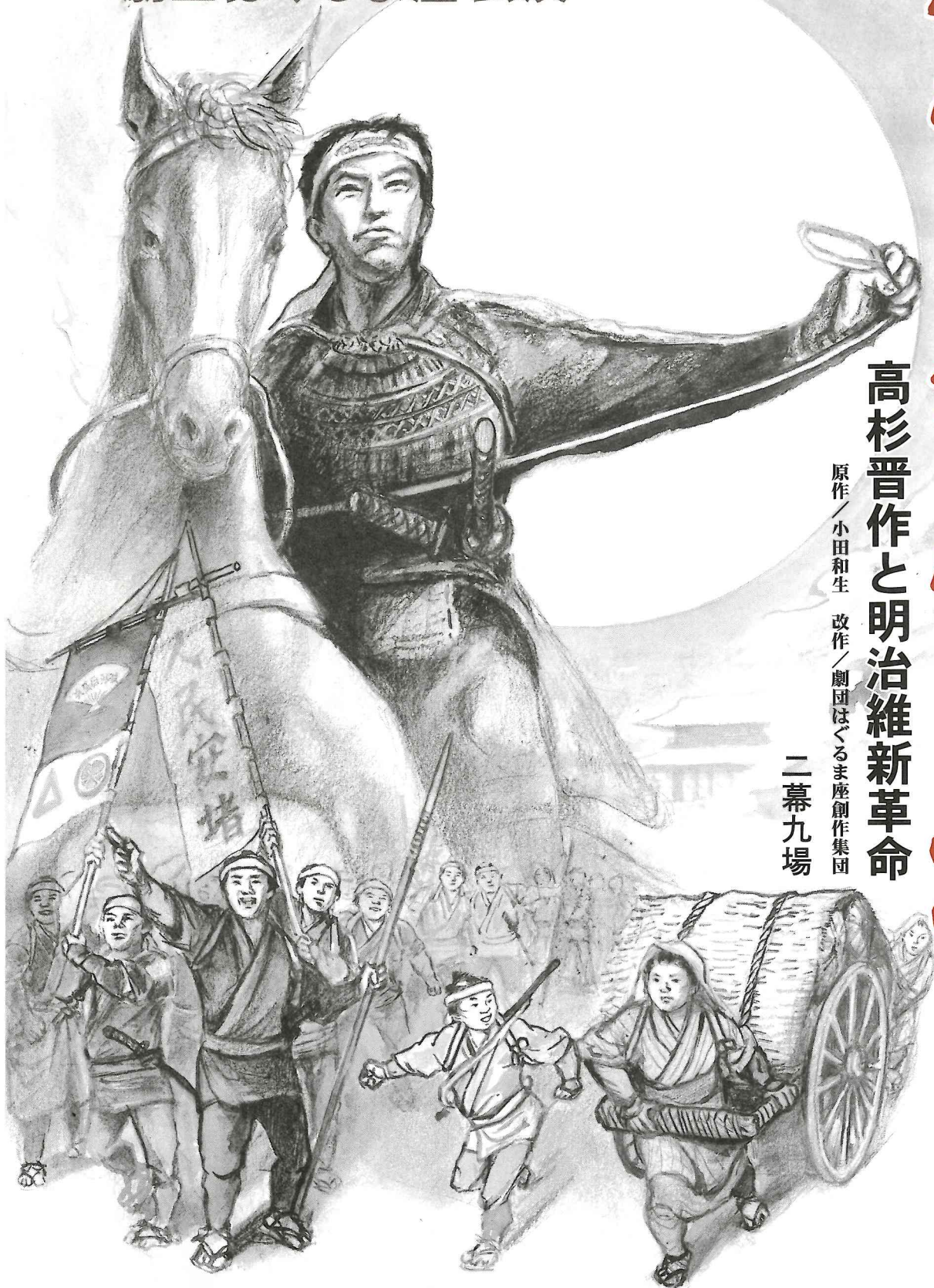
# 動けば雷電の如く

ごと

高杉晋作と明治維新革命

原作／小田和生 改作／劇団はぐるま座創作集団

二幕九場



入場券

一般	3000円
中高生	1500円
小学生	800円
大学生	2000円

'17 1月29日(日)

開場 午後 1:00  
開演 午後 1:30

## 島根県民会館中ホール

TEL 0852-22-5506

主催『動けば雷電の如く』松江公演実行委員会

後援 下関・東行庵(高杉晋作の墓所) 松江市 松江市教育委員会 松江市文化協会

連絡先 劇団はぐるま座 TEL 083-254-0516

入場券取扱所 島根県民会館チケットコーナー プラバホールチケットコーナー 今井書店グループセンター店 今井書店学園通り店 今井書店殿町店

# 強き百万の兵も恐れず、弱き民は一人といえども恐れ候こと

諭示・奇兵隊隊則

## 明治維新の先頭に立った高杉晋作と、原動力となった農民・町人たちの物語

### あらすじ

いまからおよそ一五〇年前。「百姓とゴマの油は搾れば搾るほどでるものなり」―血の出るような搾取の上に成り立つ幕藩体制はすつかり行き詰まっていた。その上に欧米の資本主義列強がアジアを次々と植民地にしていく。その勢いが中国を襲い、ついに日本にも迫ってきた。

欧米の脅しに屈した幕府は、不平等条約を結び、物価は高騰。「こまでくりや百姓一揆くらいじゃだめぞ。徳川倒して世直しするんじやったら命をかけるがのう」―庶民の怒りは沸騰していた。

下関の回船問屋・白石正一郎を訪ねた高杉晋作は、こう切り出す。「土農工商身分を問わず奇兵隊なる一隊を創立しようと思うのです。徳川を倒して、欧米諸国にひけをとらない四民平等の近代的な制度の国につくり変えること。それで民族が独立できるということです。それが真の攘夷であり、時代の流れでしょう」

奇兵隊結成の呼びかけに長州藩内各地から農民・町人の若者たちが続々と集まってくる。

「うちの爺様が言うように。世のため、人のために死ぬなら本望ぞ、しつかり性根すえてやってこい」と

だが孝明天皇は幕府に長州征伐を命令。さらに海からは米・英・仏・蘭四カ国連合艦隊が長州に襲いかかる。

十数万の幕府の長州征伐軍が迫るなか、長州藩の実権をにぎった俗論党は、奇兵隊に解散命令を出し、高杉たち正義派への肅清をはじめ、まさに維新革命最大の危機！

「親を捨て、子を捨て、みずから不忠不孝の人となり、国政をして維新たらしめんと欲す！」

元治元年（一八六四年）、雪降り積もる下関長府・功山寺。高杉は防長五〇万領民の力を信じ、わずか八〇名足らずで兵を挙げる。

「ただいまより長州男児の肝つ玉をお目にかける！」

### おもしろき

こともなき世を

おもしろく

すみなすものは

心なりけり

―高杉晋作辞世の句（下の句は野村望東尼）

